

一三九四番

潮満しほみてば 入りぬる磯いその 草くさなれや 見みらく少すくな
く 恋こふらくの多おほき

一三九五番

沖おきつ波なみ 寄よする荒磯ありその ななのりそは 心こころの中うちに
疾つつみとなれり

一三九六番

紫むらさきの 名なたか高たかの浦うらの ななのりその 磯いそにななびかむ
時ときま待まつ我われを

一三九七番

荒磯ありそ越こす 波なみは恐かしこし しかすがに 海うみの玉藻たまもの
憎にくくはああらずて